

## 米作りの味わい学ぶ

### 登米の米魅力UP大作戦

「登米のお米魅力UP大作戦！」(まなびのたねネットワーク主催)は1月25日、南方公民館で開かれ、市内中学生や生産者など約60人が参加しました。

この事業は、基幹産業の米作りを学び、地域の一員として活躍する人材を育てることが目的。参加者は、地域の生産者などから米作りやご飯の炊き方を教わり、水田ではロボットトラクターや農業用ドローンなどを操作し、スマート農業を体験しました。津山中2年の日野天晴さんは「農業の話がとても面白く、将来の夢の一つとして視野に入れてもいいと感じました」と米作りに携わる人たちの活躍に目を輝かせていました。



自動運転ができる田植え機に乗り、操作説明を受ける参加者。進化する農業技術に驚き、農作業の楽しさを感じていました。

## 結束深め誓い新たに

### 指導隊と消防団が出初式

市交通安全指導隊(菅原見隊長)、防犯指導隊(及川徳朗隊長)と消防団(菅原英義団長)が、市民の安全・安心を守る誓いを新たに、出初式を実施しました。

両指導隊の合同出初式は1月11日、中田総合体育館で開かれ、111人の隊員が参加。熊谷盛廣市長や佐沼・登米警察署長ら来賓から、服装や警備などの点検を受けた隊員は、新年の活動に向けて気持ちを引き締め、結束を高めました。消防団の出初式は1月12日、登米祝祭劇場で開かれ、団員約600人が参加。団長を先頭に消防防災センターから登米祝祭劇場まで力強く行進し、士気旺盛に威風堂々とした雄姿を披露しました。



交通・防犯指導隊の合同出初式で、装備品の点検を受ける隊員。地域の安全を守るため、任務遂行に尽力することを誓いました。

## 伊豆沼の冬の風物詩

### マガンの飛び立ちに感動

「北帰する雁を愛しむ会」(登米市伊豆沼内沼サンクチュアリセンター、新田あるものさがしの会主催)は1月26日、追野鳥観察館で開かれ、約20人がマガンの飛び立ちを観察しました。

愛しむ会は、伊豆沼から去りゆくマガンに、また来てほしいという願いを込めて企画。数万羽のマガンが一斉に空を覆う圧巻の光景を子どもたちに見せたいと父親に連れられて参加した伊藤楓夏さん(7)＝追町大形＝と星真央さん(7)＝追町品の浦＝は「寒かったけど楽しかったです。たくさん鳥が一気に飛んで行ったのがすごかった」と初めて見る光景に驚いていました。



参加者はマガンの生態や伊豆沼の自然について学び、寒さを忘れてマガンの飛び立ちに見入っていました。

## 静かに無病息災祈る

### 佐沼でどんと祭・裸参り

「佐沼どんと祭・裸参り」(登米中央商工会青年部主催)は1月14日、佐沼一市通りなどで開かれ、裸参りには商工会青年部のほか、市内の企業、団体などから約170人が参加しました。

どんと祭・裸参りは、住民の無病息災や地域の活性化などを祈ろうと昭和54年から始まり、今年で42回目。裸参りに参加した佐藤真理絵さん(34)＝南方町北本郷＝は「南方ナーシングホーム翔裕園の同僚と参加しました。施設の利用者さんや職員の無病息災と、家族が健やかに過ごせるように祈りながら歩きました」と平穏な一年を願いました。



参加者は、さらしや白装束姿にたいまつを持ち、若鮎はさま館前から津島神社に向かって厳かに歩みを進めました。

## 子どもが未来を提案

### 未来新聞コンクール表彰

「第12回子どもたちが考える登米市の未来新聞コンクール表彰式」が1月26日、中田農村環境改善センターで開かれました。

コンクールは、登米市の未来を支える子どもたちが普段の生活の中から地域の良さや問題点を見つけ、将来のまちづくりに興味を深めることが目的。「つながるまち、住みたいまち」をテーマに、小学5年の部、6年の部合わせて過去最多の116作品の応募がありました。最優秀賞には、5年の部が新田小の「未来を信じて」チーム、6年の部は横山小の「町の笑顔」チームが選ばれ、熊谷盛廣市長から賞状と記念品が贈られました。



新聞は、子どもならではの自由な発想と取材から得た情報をもとに制作。入賞した8チームが新聞の内容を発表しました。

## 学んだ知識生かして

### 高校生がドローンで授業

「高校生が教えるプログラミング教室」は1月22日、中田中学校で開かれ、登米総合産業高情報技術科3年生5人が中田中3年生36人に、タブレット端末とドローンを使って、プログラミングについて教えました。

プログラミング教室は、高校で学んだ知識や技術を生かし、日常生活に活用されているプログラミングの仕組みに触れてもらうことが目的。講師を務めた堀内晴斗さん＝中田町南加賀野＝は「教えることで自分たちも深く学びました。身近なタブレット端末などからプログラミングに触れることで、さらに興味を持ってもらえればうれしいです」と笑顔を見せていました。



ドローンの飛ぶ高さや方向をタブレットにプログラミング。思い通りに飛行するよう、繰り返しプログラムしていました。